



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2019~2020)

- ・国際会長 Building today for a better tomorrow
(より良い明日のために今日を築く)
Jennifer Jones (オーストラリア)
- ・アジア太平洋地域会長 'Action !' 「アクション！」
田中 博之 (日本)
- ・西日本区理事 主題 “風となれ、ひかりとなれ”
副題 “こころ豊かにあるために、輝くために”
戸所 岩雄 (彦根シャトーワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長主題 「スピナーカーに風を集めて」
副題: 風は六甲部の皆さんです。
柏原 佳子 (芦屋ワイズメンズクラブ)
- ・西宮クラブ会長 小野 勲紘

会長主題 「兼愛」⇒「残心」 自分を愛するように周りの人々を愛し、心に残る活動をししよう
“LOVE” your neighbor as you love yourself, “ACT” as you remind after your mind

2019年12月 西日本区強調ポイント EMC-E YES

Eを行うためには、メンバー増強とクラブ内での中堅メンバー育成が重要。YES献金は新規クラブ設立資金です。
牧野篤文 EMC (京都トップスワイズメンズクラブ)

2019年クリスマス祝会

日時 : 2019年12月17日(火) 18:30~21:00
会場 : KOBE CIUB (神戸外国倶楽部) (受付18:00~)
ドライバー 清水メン、瀧メン

1. 開会挨拶・開会点鐘 小野会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 小野会長
4. 聖書朗読 小野会長
5. クリスマスメッセージ
「荒れ野に花を見つける時」 中道基夫牧師
6. 会食 乾杯
7. ジャズライブ 小倉直也カルテット with 平野翔子
8. お誕生日のお祝い 小野会長
9. ワイズニュース 小野会長
10. YMCA ニュース 藤田主事
11. アピールタイム
12. 閉会挨拶・閉会点鐘 小野会長

2019年12月
860号
《73期6号》
since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員	
会 長	小野 勲紘
直前会長	山口 吉郎
副 会長	藤原百合子
副 会長	濱崎 進一
書 記	山口 吉郎
書 記	廣瀬 一雄
会 計	山本 常雄
会 計	浅野 純一
監 事	山口 政紀
監 事	阪根 新
担当主事	藤田 良祐

今月の聖句

荒野と、かわいた地とは楽しみ、さばくは喜びて花咲き、さふらんのように
さかんに花咲き、かつ歌う。これにレバノンの栄えが与えられ、カルメル
およびシャロンの麗しさが与えられる。彼らは主の栄光を見、われわれの
神の麗しさを見る。 イザヤ書35章1-2節 中道基夫牧師 選

11月例会出席状況	在籍会員数	22名
第1例会(28名)	第2例会(22名)	
メン 14名	メン 12名	
メネット 2名	メネット 0名	
ビジター 1名		
合計17名	合計12名	

芦屋クラブ	メンメネットゲストビジター計38名
MU 5名	合計 19名 出席率86.36%
ファンド・BF	11月 19年度累計
ニコニコファンド	¥0 ¥18,140
BF@300	¥0 ¥11,100
東日本震災@200	¥0 ¥7,600

Happy Birthday To You 12月 お誕生日おめでとうございます
1日 馬場 めぐみ メネット 8日 山口 まり子 メネット

会長メッセージ六號



会長 小野ともくに(72代)

「兼愛」 ⇨ 残心

MERRY X'MAS!

令和が幕開けして8か月。随分と1年間を短く感じられた方もおられたでしょう。逆に平成31年が4か月と併せて2年間感じられた方もおられるでしょう。昭和から平成、平成から令和と同じ年に2年間を体験出来るのはいいことかどうなのか。

歴史的には災害や疫病の流行を払拭するために改元されたことが多かったようです。従って過去には短い年号が多い。西暦で過ごした世界から見れば、何と煩わしいことかと思えます。お世継ぎの世で時代を確定する習慣は大化以来営々と続いてきました。今年も早いものでその1年は1か月を切りました。キリスト教の世界では、冒頭の一声で済んでしまうこの時期。1年を締め括り、健康で平和な年でありますようお祈りいたします。来年こそは平和で良い年であり、「残心」が心残りではなく、心に残る年でありたいものです。

さて、この時期は24節気では、仲冬の「大雪」や「冬至」といった冬真ただ中なのですが、相変わらずの「暖冬」。悴む手で霜柱を踏みしめ、雪掻きをしたのはいつの日か。寒いのは嫌だけれど、季節感の喪失は残心です。

11月28日の西宮・芦屋合同例会には多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。今年最後のクリスマス例会も盛会になりますよう、多くの参加を期待いたします。

(今月の名句)

・ラグビーのジャケットちぎれて戦えり 山口誓子

・たふとかる涙や染めて紅葉散る 芭蕉

(今月の拙句)

・ラグビーやスクラムの息ワンチーム 直行

(今年の言葉「ワンチーム」一色でしたね)

・隣家にも紅葉裾分け熨斗返し 直行

(ご迷惑を掛けて、熨斗付けて返されそう)

11月例会報告

11月第一例会 11/28 (木) 19:00～ (受付 18:30～) ホテル竹園芦屋で芦屋クラブとの合同公開例会 ゲストスピーカー: 淀川キリスト病院 柏木先生で開催しました。以下芦屋クラブ会長より例会報告をいただきました。

西宮・芦屋両クラブ合同例会

芦屋ワイズメンズクラブ 島田 恒 会長

11月28日(木)午後7時より竹園ホテルを会場として両クラブの合同例会が開催された。例年夏に開催されていたが、今年は六甲部主催行事が夏に開催されたので、11月の開催となった。総勢57名の参加、会場のコスモス室が満杯の例会であった。



小野西宮クラブ会長司会のもと、島田会長開会点鐘、クラブソング斉唱、羽太ワイズによる聖書朗読・メッセージと続き、ゲストの紹介、食前感謝は西宮藤原ワイズの祈りによって賑やかな会食・歓談となった。今回は、西宮クラブ・芦屋クラブ・ゲストを各テーブルに混合して指定、新しい交流ができるように配慮された。

料理はいつものコースであったが、柔らかいフィレステーキが配され(さすが竹園、歯が立たないステーキの心配は一掃された一笑)各テーブルで相互紹介がなされ和やかな会食・懇親となった。

急ぐかのように柏木哲夫先生のスピーチ開始、「『つながる』ということ」のテーマのもと、パワーポイントを駆使しつつ、YMCAのキャッチフレーズ「みつかる つながる よくなっていく」に重ね、「つながる」について豊富な経験の中から語られた。人生の深みに関わるテーマについて、事例を用い、ジョークを用い、説得力のあるスピーチであった。「よかった」という声が多く聞かれ、あるゲストは「感性は、気づく・共感する・行動する」ということが印象的で自分も努力してつながりを大切にしたい、と漏らされていた。

時間がなくなり、講演司会の島田が代表質問をするだけに止まったが、「ミッションを共有し、社会に貢献し、それを拓げていく」ワイズに対する期待が柏木先生から述べられた。

2時間という規定の例会であったが、もう少し長い時間を得て、十分な質疑応答の機会があればと惜しまれた。

事務報告、YMCA報告、誕生祝いと続けられ、今回は

台風災害支援募金がアピールされ多額のもの YMCA に届けられた。合同例会の締めは小野会長によってなされ閉会点鐘をもって幕を閉じた。

合同の力を活かしてよい例会になったと思う。今後とも近隣両クラブの協力が期待される。

(文責 芦屋クラブ 島田 恒)

YMCA ニュース

担当主事 藤田 良祐メン

私事で誠に恐縮ですが、11月には個人的に大きなニュースがございましたのでこの場をお借りして、皆様へ報告させていただきます。11月14日に待望の第一子

(男の子)が生まれました。これからは誠之介(せいのか)を含めた家族3人での歩みを進めてまいります。

出産前から皆様にはお気にかけていただき、心より感謝申し上げます。今後とも、メネット、コメントともども、どうぞ宜しくお願いいたします。

1. 第22回神戸YMCA インターナショナルチャリティーラン開催

11月4日(月・祝)秋晴れの天候に恵まれ、22回目となる神戸YMCA インターナショナルチャリティーランを神戸しあわせの村で開催しました。当日は奉仕者・ランナーなど約700名

が会場に足を運んでくださり、個性豊かなコスチュームを身にまといグループランに参加



したり、様々な出店での食事を楽しんだり、多くの方々と交流する機会になりました。皆様に寄せていただいた総額1,336,573円の支援金は、日本中の障がいのある子ども達のためのプログラム支援に用いさせていただきます。西宮ワイズメンズクラブの皆さまには、ご協賛をいただいたのみならず、カレーの出店、グループランへ

の参加でもご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

2. 西宮YMCA 秋のファミリープログラム

11月23日(土・祝)六甲山YMCAにおいて、西宮YMCAファミリープログラムを実施しました。今回は約95名のファミリーがご参加くださり、六甲山YMCAでゲームや食事をしながら、繋がりを深める時間を持ちました。西宮クラブからも、阪根メン、廣瀬メン、浅野メンにご参加をいただき、プログラムにご協力をしていただきました。ありがとうございました。なお、春のファミリープログラムは3月に実施を計画しています。この2年は残念ながら天候に恵まれず、中止となっております。今度こそ、春のファミリープログラムが実施できるよう祈りを合せながら準備を進めたいと思います。

3. 今後の予定

(1) 第61回神戸市民クリスマス

ワイズメンズクラブの皆様にもご支援をいただいております。神戸市民クリスマスを以下のように開催します。ご参加いただければ幸いです。

日時：2019年12月13日(金) 17:30~19:00

場所：日本基督教団神戸教会

(2) クリスマスコンサート

神戸YMCAベルクワイアー(指揮:阿部望)によるクリスマスコンサートです。詳細は神戸YMCAカレッジ(078-241-7203)へお問合せください。

日時：12月21日(土) 14:30開演

場所：日本基督教団神戸聖愛教会

費用：1,800円(当日券2,000円)

(3) ラオスワークキャンプ

高校生以上のユースを対象としたラオスワークキャンプを今年も行います。対象の方々へご吹聴いただければ幸いです。詳細は改めてお知らせさせていただきます。

日程：2020年3月21日～28日（7日間）

リーダー会便り

リーダー 池田 朱音さん

キッズ（幼児対象）

キッズ11月例会は、10月例会からのレベルアップを目指して、鉢伏山・旗振山・鉄拐山の3つの山を登りました。長い階段や険

しい山道が多かったですが、それぞれのグループがみんなで力を合わせて3つの山頂に辿り



着くことができました。山登りをしながら、どんぐりを拾い集めたり、落ち葉で顔をつくって遊んだり、豊かな秋の自然を感じる機会もたくさんあり、楽しい1日となりました。

ジュニア（小学生低学年対象）

ジュニア11月例会は岩倉山に行きました。前月よりも標高が高い山であったにも関わらず、「絶対に山頂まで登りきる！」という目標を、全てのグループが達成することができました。山を登っている途中にも、綺麗な景色をみんなで眺めたり、リーダーが設定した課題を解決しながら進んだことで、グループの子ども達同士の絆も深まったのではないかと思います。

シニア（小学生高学年対象）

シニアの11月例会は、しあわせの村テントキャンプ場に行きカレー作りを行いました。材料を買うところから、

全ての後片付けをするまで、米を炊くのも最初から最後まで子ども達が自力で行いました。役割分担を行い、自分に与えられた役割を、



責任を持って最後まで行うことができました。どのグループもおいしいカレーが出来上がりました。カレーの具はグループごとに違っており、個性的なカレーができました。片付けも全員が積極的に行っており、子どもたちの成長を感じることができました。これからの活動でも、子ども達が主体的に活動する姿が見られたら良いと思います。

地域奉仕、環境事業講演会 11/16（土）2時～3時30分 神戸YMCA 講師：竹谷輝男氏 「地球温暖化対策、プラスチック海洋汚染について」

参加：濱崎、岩田、廣瀬、山口政紀、山本、浅野各メンの出席でした。主催の宝塚クラブの青柳主査に以下の報告をいただきました。



「地球温暖化対策、プラスチック海洋汚染について」の講演会を開いて

六甲部地域奉仕・
環境事業主査
青柳美知子メン

近年の地球温暖化の深刻さを見聞きすると胸を痛めながらも、ペットボトルは買うし、冷暖房はじゃんじゃんつけてしまい、つい、レジ袋はもらうし、アメリカ大陸へわざわざヨットで渡られたグレッタさんには程遠い私だ。でも、六甲部の地域奉仕・環境事業主査を引き受けた時から、この問題をワイズとして取り上げたいと思った。ヨーロッパ諸国からすると日本人はまだ意識が低いと聞く。この期に及んで、せめて環境問題に関心の高いワイズメンになりたいと、11月16日に講演会を企画した。企画も下手、人集めも下手だったので、29名の参加者に終わった。来て下さった皆様には本当に感謝でしたが、今起こっている地球上のさまざまな災害の大きさを思うと寂しい数だった。又、「私達に出来る事」の話し合いの時間を取れなかったのも私のミス！海洋汚染の大きな原因であるプラスチックの歴史、種類、

生産過程で入れられる添加物の毒性、日本でのプラスチックごみの処理状況、海上に浮かぶマイクロプラスチックの量と拡散状況等、又地球気候変動について気温と海水温の上昇の危険性等多岐にわたっての学びとなった。将来プラスチックを無くして行く方向や温室効果ガス減少問題等は企業の問題意識が大きいと思うが、それは小泉環境大臣に期待して、我々は小さな事、出来る事を不便や手間の掛かる事でもやって行かねばと思った。この勉強会は六甲部で次期に引き継ぎたいと思う。

西宮 YMCA 秋のファミリープログラム

担当：藤原 梓さん

11月23日（土）秋晴れの空の下、西宮YMCAファミリープログラムが行われました。総勢95名、35組のファミリー、ワイズメン、ユースボランティアリーダー、OBOG、職員が六甲山YMCAに集い、楽しい時間を過ごすことができました。『ファミリーとファミリー』そして『親と親、親と子が繋がるように、そして大きな家族になれるように』そんな願いを込めてプログラムの準備を行ってきま



した。当日は、焚き火、焼き芋作り、自然をテーマにしたネイチャーゲーム（ユースリーダー

が主体となり準備した松葉ゲームや、自然の中で人工物を見つけるゲーム等）を参加者と共に行いました。みんなで昼食やプログラムを楽しんだ後は、焼き芋を食べました。「焼き芋できているかな？」とワクワクしながらアルミホイルの包みをはがすと、中からホクホクと美味しそうな焼き芋がでてきました。「美味しい！」という声にみんなの笑顔が溢れました。食後は、ワイズメンの皆さまが主となって準備してくださったホットコー

ヒーを飲みながら、自然の中で生き活きと走り回る子ども達の姿を見守る、なんとも言えない暖かな雰囲気にも包まれました。参加したファミリー、ワイズメン、リーダー、OBOG、職員と共に、みんなが繋がる機会を持つことができたことに心から感謝しています。

Country Dance & Music Party 報告

山本常雄メン

西宮ワイズとプラス 1(ONE)ネットとの共同のファンダンス事業カントリーダンス&ミュージックパーティーが去る11月23日の勤労感謝の日の夕刻、賀川記念館にて開催されました。演奏は昨年同様山田っち&フレンズに、ダンス指導は岡村弘子インストラクターにお願いしました。



参加者は57名と前年に比して少なめでしたが、皆で踊ったり飲んだり・・・若い方から昔若かった方迄幅広い年代層の方々に楽しんで頂けたものと思います。

ウキスキーやワイン、コーヒー豆やおにぎり等沢山の差し入れを頂きました。またチラシやチケット作成・販売、物品の購入、会場設営・受付や各種サービス・後片付け等、ご担当頂いた多くの方々に厚くお礼申し上げます。

ワイズニュース

会長 小野 勅紘メン

【先月のイベント】

11月28日(木)西宮・芦屋合同例会(EMC 強調例会)ホテル竹園芦屋、55人出席、ゲストスピーカー：柏木哲夫さん

【今月のイベント】

12月2日(月)六甲部ワイズ起こし運動第二分科会、神戸YMCA 小野出席

- 12月7日(土)西宮 YMCA 保育園クリスマス
 12月8日(日)国際協力募金、神戸大丸前、
 14時—16時
 12月13日(金)神戸市民クリスマス「歌うクリスマス」17
 時30分～19時、神戸教会、無料
 12月17日(火)西宮クラブクリスマス祝会(第一例会)18
 時30分～21時、神戸倶楽部、ドライバー:清水ワイズ、
 濱ワイズ、ジャズのタベ、奨励:中道基夫神戸YMCA
 会長
 会費:10,000円
 12月20日(金)第二例会
 12月20日(金)宝塚市民クリスマス「キャロルを歌う夕」、
 宝塚ベガホール(阪急清荒神駅)
 19時～、主催:宝塚クラブ他
 12月21日(土)神戸 YMCA ベルクワイアコンサート、14
 時～、神戸聖愛教会(神戸市中央区生田町1-7-2
 3)、入場料1800円(当日2000円)
 12月-1月 国際議員、国際会長、アジア・太平洋地域会
 長選挙、小野投票

【次月以降の予定】

- 1月9日(木)YYYフォーラム準備会、神戸 YMCA、18時3
 0分～
 1月10日(金)第一例会、19時～、ドライバー:石井ワイ
 ズ、山本ワイズ
 1月10日(金)後期半年報提出、小野
 1月24日(金)第二例会
 2月14日(金)第一例会、19時～、ドライバー:西山ワイ
 ズ、廣瀬ワイズ
 2月15日後期区費納入期日
 2月22日(土)神戸クラブ90周年記念例会、14時～、新
 神戸 ANA クラウンホテル
 2月28日(金)第二例会
 2月29日(土)神戸 YMCA・YYYフォーラム
 3月7日(土)～8日(日)次期会長・主査研修会、新大阪コ
 ロナホテル
 3月13日(金)第一例会、ゲストスピーカー; 追原三重先
 生、テーマ:アンガーマネージメント、19時～

【ドライバー等今後の担当者】 (敬称略)

月	ドライバー	聖句・祈祷
12月	濱・清水	山口(吉)・山口(政)
1月	山本・石井	山本・小野
2月	廣瀬・西山	小野・小野
3月	山口(政)・浅野	馬場(一)・馬場(一)
4月	丸山・藤田	藤田・藤田
5月	岡田・重村	藤原・藤原
6月	馬場(一)・阪根	山口(政)・山口(政)

※聖句担当は原則として、聖句選考者が朗読もお願いいた
 します。(欠席の場合はドライバーが朗読お願いしま

す)その際エピソードがあれば、朗読に添えて下さい。また
 スケジュールの都合が悪くなって交代した場合は早めにお
 知らせ下さい。11月担当の馬場(一)ワイズと、6月担当の
 小野が交代。

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

芦屋クラブとの合同例会までに原稿を送る、と言って
 おられたあと一人(甲子園球場で9回表、2死のバッタ
 ー、ちなみに2ストライクでは‘あと一球’ですが)の
 原稿が届きました。

ゆっくりしていたお陰で国際協力募金に参加されてい
 た山本ワイズにその様子を伺いました。。二十数名の参
 加でワイズは数名。募金の集まりはどうももう一つ、の
 よう。キャッチコピーというか、アピールポイントがも
 一つ、だったのかも。寒い冬空も下、お疲れさま。

当方は毎年恒例の、関西学院中央講堂でのコール・セ
 コインデリサイタルに。暖かい屋内での音楽鑑賞に‘せ
 こいで’と言われそう。

今号では芦屋の島田ワイズ、宝塚の青柳ワイズ、西宮
 YMCA 職員の藤原さんに原稿をお願いしました。みな
 さんには快諾いただき、すみやかに送稿くださいました
 が、西宮クラブクリスマス祝会まであと一週間と迫る時
 のブリテン出来上がりとなり申し訳ございません。

